

「学習会」始めました

『さんかく隊』では、今年初めに「防災まちづくりに関する勉強会」を行い、災害の恐ろしさや、私たちの地区の状況、防災まちづくりの方法について改めて理解を深めました。

今回、地区内のみなさんにも防災まちづくりへの関心をより高めていただこうと、地区での様々な行事などの場へお伺いし、同じ内容をお伝えする活動を始めました。

私たちの地区には多くの学校、町会・自治会等があり、取り組みは少しずつ進めてまいります。皆さんの地区へお伺いする際には、ご協力をお願い申し上げます。（広報部・事務局）



去る10月28日に、蒲田図書館にて東蒲田地区にお住まいの方々と学習会を行いました。来年春までに、大森中地区、北糶谷地区にお住まいの皆さんにもお伺いする予定です。

先日の大地震、何してた？

去る7月23日(土)の夕方、東京を最大震度5強の揺れが襲いました。幸い大きな被害は免れましたが、ビルやマンションのエレベータに閉じこめられた人が多く出るなど、大都市特有の現象が多く見られました。

そこで今回、会員の皆さんに「先日の大地震の際に何をしていたか?」「何を考えたか?」を尋ねましたので、いくつかを紹介しします。



「レストランにいて、携帯電話はすぐに不通でした。車に乗りましたが、普段は40分で着くのに、2時間かかりました。車中での水分補給も重要です。」

「自宅の2階にいました。家族の誰がどこにいるのかを確認しました。自分が何をしようか分からず、何もできなかったのが現実です。」

「家にいました。昨年の防災まちづくりフェアで見た災害シミュレーションをすぐ思い出して、地震からの時間で生死が分かれる話に深く感じ入りました。」

現在は、地震を防ぐことや、地震の発生を正確に予知することはできません。だからこそ、地震の際の状況を理解し、安全なまちをつくることに加え、地震の際に的確な行動を取ること、そして助け合うことを日頃から意識しておくことが大切です。

(8月29日、全体会にて広報部取材)

ぼくと私の防災のまち(その)

「不燃化助成」を知っていますか?



クマ子さんのお宅最近新築したのね。

火災にも強いお家なんですって。うれしそうだったわ。

災害に強く、いいお家だけれど、結構お金かかったでしょうね?

区の助成?うちもその道路に面しているから調べてみよう!!

まちの地区防災道路に面していて、耐火性の強いお家にするということで、助成が受けられたんですって!!

= 数日後 =

区役所で調べてもらったなら我が家もその助成を受けられるって!!

だけど助成が受けられるのはあと数年だけなのよね。急がなきゃ!!

家族と話し合っって、私の家でも、木造ではなくて、耐火性の高い構造の家に建て替えようと思うの。



燃えにくい建物への建て替えは、まち全体の安全性を高めることができ、重要な取り組みです。区では、第一京浜国道、環状8号線、産業道路で囲まれた当地区内の地区防災道路や避難所(小・中学校)の周辺10m以内の区域で、耐火構造にするなど一定の条件を満たす建築物の建設について助成を行っています。

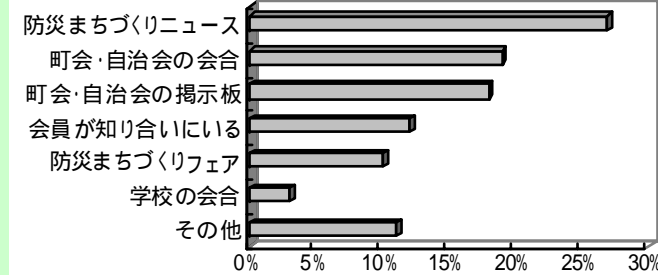
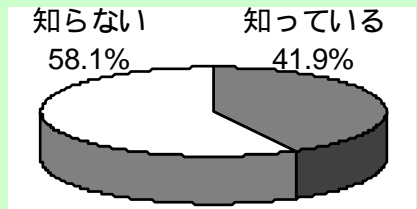
例：床面積100㎡以上125㎡未満の場合
180万円の助成
条件がありますので、詳しくは、まちづくり推進部都市開発課(電話5744-1338)まで

『さんかく隊』知っている人は4割?!

今年も街角アンケートを行いました

『さんかく隊』では、去る5月21日(土)の午後、梅屋敷東通り商店街、キネマ通り商店街、西糶谷商店街において、昨年引き続き「街角アンケート」を実施しました。「私たちの活動を知っているか」、「どの活動を通じて知っているか」について尋ね、各地区とも約1時間の実施で、合計300人(うち地区内居住者は224名)からご回答をいただきました。

地区内にお住まいの方で『さんかく隊』を知っている方は、約42%でした(地区外の方も含めると約38%)。今後も、多くの方に知ってもらえるよう努力していきます。



会の活動は、約30%程度の方がこの「防災まちづくりニュース」を通じて、次いで約20%の方が、それぞれ「町会・自治会の会合」、「掲示板」から情報を得ていることがわかりました。今後も、ニュースやまちの活動を通じて防災まちづくりに関する情報を伝えていきます。

また、アンケートの際には、「地震への不安はあるが具体的にどうしたらいいかわからない」などのご質問や、「いざという時のために活動を続けてもらいたい」などのご意見をたくさんいただきました。

今後も定期的に「街角アンケート」を実施し、会の活動が地区住民の皆さんに知っていただけているかを探りながら、防災まちづくりの大切さを伝えていきたいと思ひます。(広報部)

